

シラバス

教 科	科 目	単位数	学 年	コ ー ス	組
地歴公民	N 日 本 史	4	3	文系GA	1, 2, 3

教科書	詳説日本史（山川出版社）	副教材	新詳日本史（浜島書店）
			時代と流れで覚える！日本史用語（文英堂）

科目の目標	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを考察し、よりよい社会の実現を視野に、歴史的経緯を踏まえて、現代の日本の課題を探究する。
-------	---

科目の概要	日本史の近世史および現代史を扱う。近世がどのような時代であったかを世界の動向と関連付けて考察し、総合的に捉えて理解する。さらに、歴史総合の学習を踏まえた、世界の情勢の変化とそこにおける日本の相互の関係や、日本の近現代の歴史を、多面的・多角的に理解し、それらを踏まえて、現代の日本の課題を考察する。
-------	--

観点別評価			
3 観 点	○「知識・技能」	○「思考力・判断力・表現力」	○「主体的に学びに向かう態度」
10 の 力	①「知力・学力」	②「課題対応力」、③「論理的思考力」、④「原因分析力」、⑤「傾聴力」、⑥「受信・発信力」、⑦「協働力」	⑧「行動力」、⑨「自己管理能力」、⑩「自己実現力」
観 点 の 評 価	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
評 価 の 方 法	・定期試験 ・小テスト	・レポート課題など、文章化した成果物やプレゼンテーション ・課題を見つけ、解決する過程での議論の様子	・授業中の活動 ・課題への取り組み方 ・自主的な学習や活動

シラバス

学 習 計 画		
学期	学 習 内 容 (単 元)	単 元 別 学 習 目 標
1 学 期	第9章 幕藩体制の成立と展開 1. 幕藩体制の成立 2. 幕藩社会の構造 3. 幕政の安定 【1学期 中間試験】 5月18日～21日	江戸幕府による法制度の確立と対外政策の意義、兵農分離や身分秩序に基づく社会構造、そして文治政治への転換を通じた平和と秩序の安定という、幕藩体制が強固な基盤を築き、社会が安定していく過程を多角的に理解・考察する。
	第9章 幕藩体制の成立と展開 4. 経済の発展 5. 元禄文化 第10章 幕藩体制の動揺 1. 幕政の改革 2. 宝暦・天明期の文化 3. 幕府の衰退と近代への道 【1学期 期末試験】 7月1日～7日	交通網と貨幣制度の整備による全国的な商品経済の発展と、それを基盤として上方の町人を中心に開花した元禄文化の特色について、社会の安定や経済構造の変化と関連づけて多角的に理解・考察する。 商品経済の浸透に伴う幕藩体制の動揺とそれに対する諸改革、外圧による環境の変化と幕府の衰退を経て、近世社会が変容し近代へと向かっていく過程を多角的に理解・考察する。
2 学 期	第10章 幕藩体制の動揺 4. 化政文化 第11章 近世から近代へ 第16章 占領下の日本 【2学期 中間試験】 10月13日～16日	欧米列強の進出に伴う開国と社会経済の変化、および幕末の政治的動乱を経て明治新政府が発足するまでの、近世から近代への転換過程を多角的に理解・考察する。 占領政策による民主化諸改革と日本国憲法の制定、および東アジア情勢の変化（冷戦）を踏まえたサンフランシスコ平和条約による主権回復と独立の意義について多角的に理解・考察する。
	第17章 高度成長の時代 第18章 激動する世界と日本 【2学期 期末試験】 12月1日～7日	55年体制による政治的安定と国際社会への復帰、および高度経済成長による劇的な社会変容とその過程で生じた社会問題について、国内外の情勢と関連づけて多角的に理解・考察する。 石油危機を克服した経済大国化と冷戦終結に伴う国内外の体制変化、および環境・エネルギー・災害といった現代社会が抱える諸課題と日本の役割について、主体的に探究し多角的に考察する。
3 学 期	特別編成授業 生徒の進路および希望に合わせて受験講座と教養講座を設置する。	受験講座：大学入試問題に対応できる力を身につける。 教養講座：各自の興味・関心に合わせて、さまざまな分野の学習体験を通じて教養を深める。